

市や議会に対する 市民皆さまの思いを紹介



ジオパーク学習をして

昨年、豊後大野市はジオパークの認定を受けました。それを知ったとき、みんな大喜びしました。私も「やった」という気持ちと、ほっとした気持ちで胸がいっぱいになりました。清川小学校の5年生と6年生は、昨年、ジオパークの学習に取り組みました。歴史民俗資料館の高野さん、豊田さんにジオパークの意味や豊後大野市の自然や歴史について教えていただきました。私たちの清川町にもたくさんの自然遺産があって、とても貴重なものだと知りました。

私が一番驚いたのは、轟橋と出合橋のアーチの幅が全国1位と2位ということでした。また、豊後大野市は、約9万年前に阿蘇山が噴火して火砕流が固まってできたことも初めて知りました。姫島小との交流も忘れられない思い出です。ジオパークの学習を通して、豊後大野市のよいところをたくさん知ることができてよかったです。

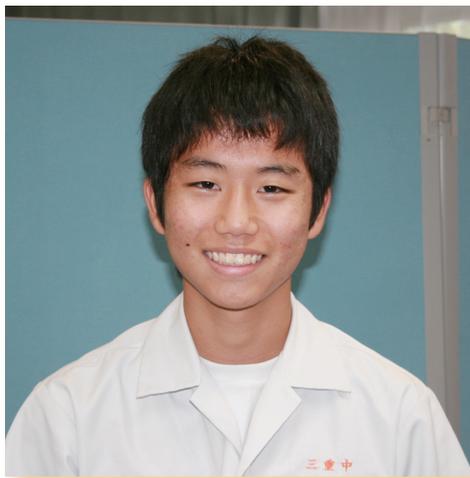
これからもいろいろ勉強していきたいです。



清川小学校 6年

和田 奈菜子

生き方を学ぶ～農楽校と出会って



三重中学校 3年

後藤 舜吾

子ども農楽校とは、豊後大野市の小中学生が農林業を体験し、緑の大切さや農林業の素晴らしさを学ぶ学校です。

農業をしている祖父の影響で、僕は農作業をすることが以前から好きでした。だから、農楽校の募集があったとき、僕はすぐに興味を持ち参加を決めました。

農楽校の活動は、清川町の花屋さんの苗作りを見学したり、桃の収穫を体験するような簡単な活動ばかりではありません。小雨の中での田植えや強い日差しの中での草取りのようにきつい作業もありました。

僕は農楽校の活動の中で、祖父の手伝いでは気付いていなかった農業のきつさを学びました。でも、活動が大変だったことで、終わったときの達成感の大きさもを見つけました。また、農楽校の先生方はくわの使い方一つから丁寧に教えてくれる優しい先生方です。僕も誰かに根気よく物を教える力や見えない所での優しさを持つ大人になりたいと思います。

議会を傍聴してみませんか？

次回12月定例会は、11月28日に開会予定です。

手続きは、受付にて住所と名前を書くだけです。 TEL 0974-22-1001
お気軽に議会事務局にお尋ねください。 市内無料電話 9-22-1001

広報編集特別委員会
委員長 佐藤 徳宣
副委員長 沓掛 義範
委員 朝倉 秀康
内田 俊和
小野 勇治
赤峰 映洋